

EMC試験について -イミュニティ- サージ

◆ 誘導雷や開閉サージを模擬したノイズを印加する

落雷により発生する誘導雷を模擬しており、電源線および屋外に配線されるようなケーブルに対し、印加する。試験電圧も高いが、ノイズ電流が流れる時間が長いため、ノイズのパワーが大きく、厳しい試験である。

対応試験規格

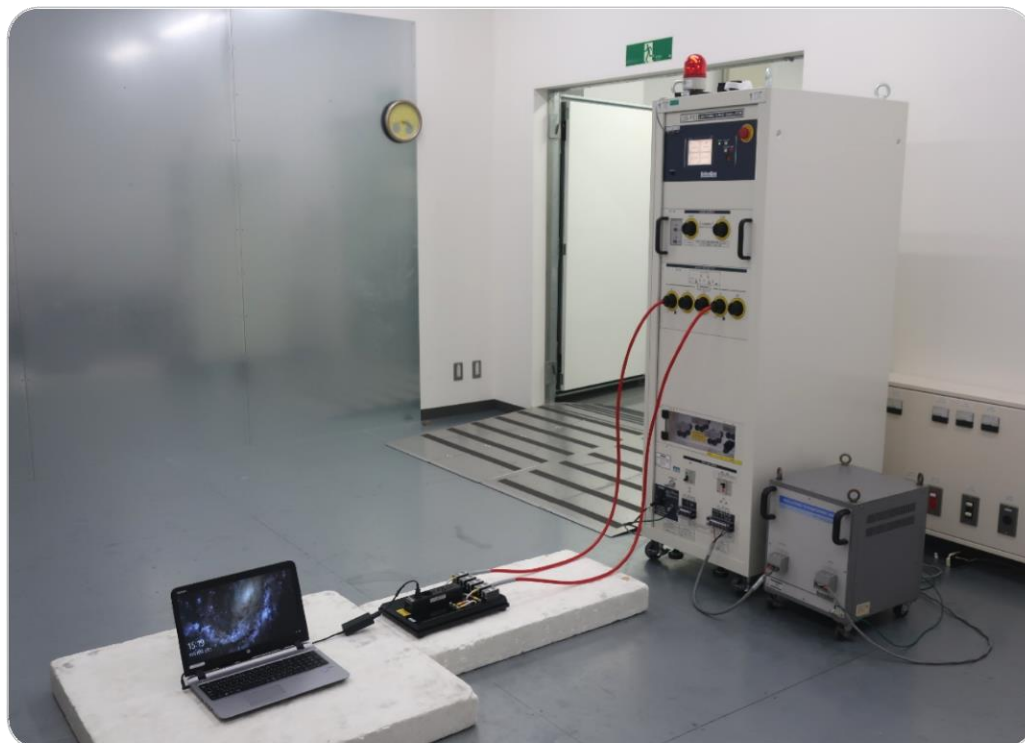
- ・IEC 61000-4-5
- ・JIS C 61000-4-5
- ・その他規格

試験仕様

- ・試験電圧: 0.5kV, 1kV, 2kV, 4kV等
- ・印加回数: 5回(正負極)
- ・印加位相: 0° , 90° , 180° , 270°
- ・波形仕様: 1.2us/50us(開回路)
8us/20us(閉回路)

当社試験機器仕様

- ・試験電圧: ± 15 kVまで
- ・単相AC300V 50A/三相AC480V 50A /
DC125V 50Aまで



EMC試験について -イミュニティ- ファストランジェント/バースト

◆ 過渡現象により発生したノイズを電源線や信号線に印加する

スイッチなどの開閉器のON/OFF時に発生する繰返しの早いノイズを印加し、装置のノイズ耐性を確認する。試験電圧も高いが、ノイズの立ち上がりが高速であるために、非常に高い周波数成分も含むため、信号系には厳しい試験である。

対応試験規格

- ・IEC 61000-4-4
- ・JIS C 61000-4-4
- ・その他規格

試験仕様

- ・試験電圧:0.5kV,1kV,2kV等
- ・印加時間:1分
- ・波形仕様:5ns/50ns
- ・繰返し周波数:5kHz,100kHz

当社試験機器仕様

- ・試験電圧:±5.0kVまで
- ・単相AC300V 60A/三相AC480V 60A / DC125V 60Aまで



EMC試験について -エミッション- 雑音電力(妨害波電力)

◆ 電源線に漏洩するノイズ電流を測定する

電源線を長く引き伸ばし、吸収クランプを用いて、電源線に漏洩するノイズを測定する。周波数に応じて、電源線上でノイズ電流の分布が発生するため、6m間を吸収クランプで走査し、最大箇所を測定する。(測定結果は電力として表示する。)
妨害電力が適用されている試験規格においては、妨害電力か放射妨害波のどちらかを選択する。

対応試験規格

- ・電気用品電安法
- ・CISPR14-1
- ・その他規格

試験仕様

- ・測定周波数: 30-300MHz
- ・各許容値に対し、QP値、AV値を測定

当社試験機器仕様

- ・対応周波数: 30-300MHz
- ・ケーブル径: 25mmまで

